

森の呼吸

Breath in the Forest

キーワード：

環境
森
音
風
装置

大 き さ：約 h300 × w300 × d100cm 会場 10 箇所に点在
素 材：竹、プラスチック紙、ロープ、塩ビパイプ、ウォータージャグ等
発表場所：静岡アートドキュメント 2014
発 表 年：2014 年 11 月 29 日～12 月 7 日
概 要：森を流れる風を音に変換する装置としての作品

静岡アートドキュメント2014が日本平周辺の5つの会場である舞台芸術公園、遊木の森、静岡大学ビオトープ、大家の古民家（大村邸）、萬象寺において開催された。実行委員の一人として筆者も企画に加わり、日本平パークウェイ途中にある遊木の森において作品を展示した。ここでは、普段NPO法人しずおか環境教育研究会による様々な自然教育プログラムが実施されている。今回の会期中にも子供向けのワークショップが共同開催された。この会場では11人の作家が作品を展示した。そのほとんどが、この自然環境を意識したものであった。

筆者が初めてここを訪れ森の中を散策した時、木々のざわめきと小鳥の鳴き声、そこに流れる風の音が自然と体の中に入ってきた。心地よい気分浸っていると、途端に

パークウェイを疾走するバイクの爆音が飛び込んでくる。視覚より聴覚の情報に敏感になる森である。そこで音を作品化することを試みた。装置はそこにある木の配置を生かし竹と紙でできた羽をロープで掛け、ウォータージャグに着けた塩ビパイプに繋いだものである。風を受けた羽が、ウォータージャグを引いているロープを緩め、中に溜められた空気を出すことで取り付けられたパイプから音を発する。森を駆け抜ける風を音に変換した作品である。また鑑賞者自身が装置に触れて変化する音を楽しんでもらうことも想定した。



